

# Polaris news

【北高ニュース NO.202210】

## 「北海道研修旅行」 海外研修旅行代替行事 (2022.10.26~28)

### ■1 日目

#### 「ウポポイ（民族共生象徴空間）」

千歳空港からバスに乗って白老町にあるウポポイ（民族共生象徴空間）にいきました。少し早めに着いたこともあり、ウポポイの広場を散策しました。天気も良く、遠くにプリンのような形をした活火山、樽前山を望みながら生徒たちは大はしゃぎ。その後、アイヌの民族料理を食べました。さすが北海道と唸るほどのジャガイモや鮭のおいしさでした。アイヌの歴史と現在についてのお話を聞いてから博物館を見学しました。どれも大変見ごたえのあるものでした。



#### 「登別温泉地獄谷」

登別温泉では短時間ではありましたが温泉街を楽しみました。名古屋より一足早い紅葉を楽しんだり、閻魔堂や、鬼の像を見たりしました。



## ■2日目

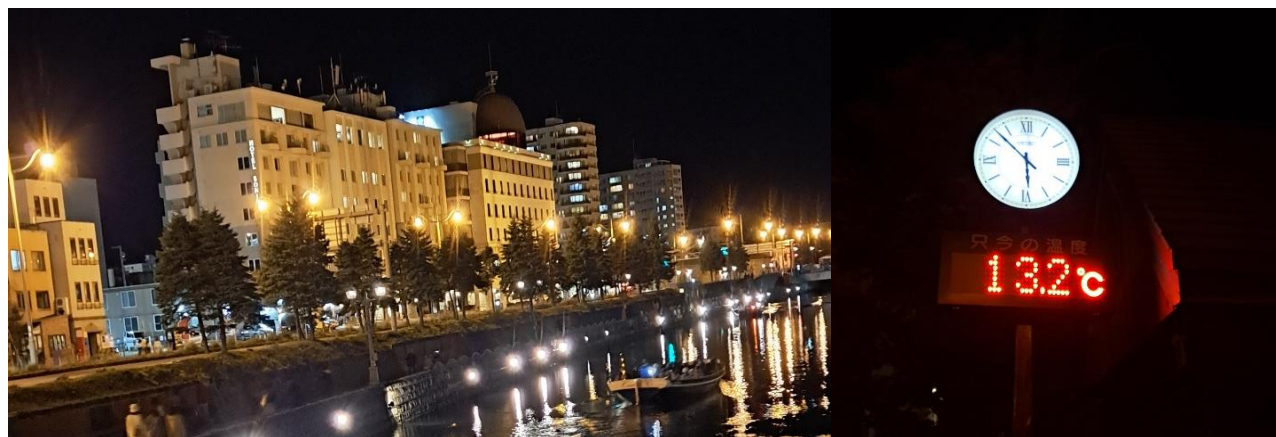
### 「洞爺湖火山科学館 防災プログラム参加」

有珠山の周辺では過去の火山活動の影響を受けた建造物を噴火災害遺構として保全しています。橋げたがぶつかって大きく破損しているアパートや半分近く埋まってしまっている銭湯に衝撃を受けました。火山マイスターのガイドさんたちに案内してもらいながら自然災害のこわさや共存の難しさそして何より、その土地を愛する人々の熱い気持ちに触れることができました。



### 「小樽散策」

小樽は歴史のある街で、美しい運河、スイーツ、ガラス工芸、オルゴールそして芸術の街でした。各自、かねてから計画していた「体験」または「博物館・美術館見学」へと向かい、合間にお昼を食べたり、お茶をしたりお土産を買ったりと小樽を満喫していました。最後に夜の運河を背景に集合写真を撮りました。破格の長時間班別行動タイムであったにもかかわらず、旅行後のアンケートには「時間が足りなかった」との記述が。すごく楽しかったということですね。



### ■3日目

#### 「むらかみ牧場 酪農体験」

酪農体験では乳しぼりやバターづくりも楽しみましたが、なんといっても村上さんのお話が一番です。昨今の酪農を取りまく、切なくなるような憤りたくなるような話に生徒たちのまなざしも真剣そのもの。酪農家が年々減っている現状から日本の食料自給率やサプライチェーンの話まで、普段では聞くことができないような業界の裏事情（別に「裏」でもないのですが・・・）が、遠く思っていた世界を急に近くに引き寄せたようでした。



#### ■生徒の感想より

- ・海外に行けないのは悔しいけれど、それ以上に北海道を楽しむことができた。
- ・いろいろな発見があり、3日間とも充実した楽しい研修旅行でした。
- ・食べ物がおいしい。（寿司、海鮮、アイヌの食事）
- ・いろいろな文化や普段できないことを経験できた。
- ・牧場を経営する人が減ってきていることや牛乳の値段が高くなってきていること、赤字ですごく大変だということを学び、牛乳を残さないようにして少しでも牧場の方を助けたいと思いました。